

天狗原山～金山 山行記録

木下祐子

1. 日 2010年8月11日(水)
2. 目的地 妙高連峰 天狗原山(2197.1m)～金山(2245m)
3. メンバー 木下・他1名
4. 日程
自宅発4:00→登山口着6:40→発7:00→水場8:05→
天狗原山10:45→金山11:35～11:45→天狗原山12:25
～12:40→登山口着15:05→自宅着17:50

登山口からすぐにブナ林の中の急登である。一際見事なブナの大木に思わず歩みを止めた。

水場着。雨が降らないと潤れる事もあるというが、この日は大丈夫。乾ききったのどに、とても冷たく甘かった。

さらに登り、ブナタテ尾根を行く。沢を埋め尽くす巨大水芭蕉、岩壁の見える稜線、沢の中の道、お花畑のガレ場、オオシラビソ林の中の急登・・・と、変化に富むコースをアップダウンを繰り返しながら進んで行く。

疲れでいよいよ足が重くなってきた頃、ようやく笹原になり、一気に展望が開けて涼風とお花畑の稜線に出た。歓声を上げながら緩やかに登っていくと、お花畑の中で噂のお地藏さんが静かに私達を迎えてくれた。

ちょうど下山してきた単独のおじさんに「この先はずっとお花畑だよ」と教えられ、金山を目指した。

一気に下り、潤れ沢を登って出た台地は、神の田圃という。所々に小さな池塘もあり、本当に見事なお花畑だった。

ハクサンフウロ、クルマユリ、ウサギギク、タテヤマリンドウ、ハクサンコザクラ、チングルマ、ウメバチソウ、ハクサンボウフウ、イブキトラノオ、ニッコウキスゲ、ダイヤモンドソウ、シナノキンバイ、ミヤマキンポウゲ、ヨツバシオガマ・・・様々な季節の、様々な種類の花が数え切れないほど咲いていた。長い冬を耐え抜き、雪解けとともに一気に咲き誇り、命を謳歌しているようだった。



焼山・火打山・妙高山・雨飾山・北アルプスなどの山々は、残念ながらガスに阻まれて展望できなかったが、登りごたえのある長いアプローチの末に突如現れるこの雲上のお花畑と湿原には、本当に満足できた。また、この日は3人の単独行の男性と行き会っただけで、その静寂さも嬉しかった。

紅葉の季節に、ぜひまた訪れたい山である。



(お地藏さん前から火打山?)



(神の田圃)



(天狗原山から金山)